平成25年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人: 6件 (敬称略:五十音順)

<u> 個人:6件 </u>	(敬称略:五十音順)
氏 名	功績の概要
襟川 惠子 一般社団法人デジタルメディア協会 理事長 コーエーテクモホールディングス株式会社 取締役名誉会長	多年にわたり、一般社団法人デジタルメディア協
	会理事長として、デジタルコンテンツの流通促進
	に大きく寄与するとともに、デジタルコンテンツ
	に係る諸問題の解決に積極的に取り組み、情報通
	信の利活用の推進に多大な貢献をした。
^{まかむら} ひ ^{きみち} 岡村 久道	「情報セキュリティ アドバイザリーボード」及び
	「パーソナルデータの利用・流通に関する研究会」
弁護士 国立情報学研究所 客員教授	などの構成員を歴任し、法律家としての見識に基
	づく有益な助言を行うなど、情報通信の安心・安
	全な利用の推進に多大な貢献をした。
《かこ ひろゅき 桑子 博 行 一般社団法人テレコムサービス協会 サービス倫理委員会 前委員長	通信事業者団体で構成する違法情報等対応連絡会
	の主査として、「インターネット上の違法な情報へ
	の対応に関するガイドライン」及び「違法・有害
	情報への対応に関する契約約款モデル条項」など
	の整備に主導的な役割を果たし、情報通信の安
	心・安全な利用の推進に多大な貢献をした。
しげむら はじめ 重村 一	日本の放送コンテンツを世界中にPRすることを
	目的とした「国際ドラマフェスティバル in
	TOKYO」を平成19年に立ち上げ、その後の
国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会副委員長	運営に積極的に携わるとともに、タイ王国での日
兼エクゼクティブ・プロデューサー	本ドラマ集中放映や日本の放送番組のPRイベン
株式会社ニッポン放送 代表取締役会長	ト「J Series Festival」の開催に尽力するなど、
	放送コンテンツの海外展開に多大な貢献をした。
まれた でいじ	東日本大震災の被災地における地域医療の復興及
	び次世代医療の実現を目的とする「東北メディカ
	ル・メガバンク計画」において、東北メディカル・
	メガバンク機構医療情報ICT部門長として、
	ICTを活用した地域医療連携の実現に尽力する
	など、医療分野における情報通信技術の利活用の
	推進に多大な貢献をした。
原 量宏 香川大学 瀬戸内圏研究センター 特任教授 日本遠隔医療学会 会長	多年にわたり、情報通信ネットワークを活用した
	遠隔医療の高度化や瀬戸内圏における地域医療の
	情報化に積極的に取り組むとともに、産学官連携
	による地域ネットワークに関する研究開発やシス
	テム構築に尽力するなど、医療分野における情報
	通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。

2 団体: 2件 (敬称略:五十音順)

- HITT 11	(3/1/4) = 1 = 100
団体名	功績の概要
一般社団法人 映像コンテンツ権利処理機構 (aRma) (理事長 尾木 徹)	放送コンテンツをインターネット配信や海外番組 販売で二次利用する際に必要となる権利処理業務 について、受付業務の一元化による効率化を実現 するなど、放送コンテンツの流通促進及び海外展 開に多大な貢献をした。
神奈川県町村情報システム共同事業組合 (管理者 山口 昇士)	クラウド化への取組が全国自治体の先進的なモデルケースとなっているほか、「自治体クラウドの円滑なデータ移行等に関する研究会」の構成員として中間標準レイアウト策定に際し、クラウド導入団体の立場から積極的に発言するとともに、全国で自治体クラウドの取組を紹介するなど、情報通信技術の利活用の推進に多大な貢献をした。